

(5) 園芸施設共済関係

(引 受)

項 目 施設区分	組 合 等 数	組 合 員 等 数	引受棟数	引受面積	共 済 価 額	共 済 金 額	保 険 金 額	徴収保険料	交 付 金	手持保険料
		人	棟	m ²	千円	千円	千円	円	円	円
ガラス室 I 類										
〃 II 類	3	7	13	9,713	97,144	77,710	69,939	83,531	98,344	181,875
プラスチックハウス I 類										
〃 II 類	8	786	2,668	493,436	857,461	677,805	610,024	3,349,863	2,134,317	5,484,180
〃 III 類	8	1,509	3,416	2,572,503	7,086,402	5,598,244	5,038,419	16,750,798	14,826,950	31,577,748
〃 IV 類 (甲)	7	104	224	117,843	439,123	349,560	314,604	1,717,057	1,957,700	3,674,757
〃 IV 類 (乙)	2	4	6	4,062	17,398	13,916	12,524	53,212	57,242	110,454
〃 V 類	8	293	755	473,823	3,681,380	2,914,188	2,622,769	3,996,754	4,143,961	8,140,715
〃 VI 類	6	209	802	425,333	984,353	779,974	701,976	1,385,260	1,318,696	2,703,956
〃 VII 類										
(延)	42									
計 (実)	8	2,912	7,884	4,096,713	13,163,261	10,411,397	9,370,255	27,336,475	24,537,210	51,873,685

(被 害)

項 目 施設区分	被 害				損 害 額	共 済 金	保 険 金	共済金／ 共済金額	〔引受概況〕 県全体としては、棟数、面積、共済金額とも前年実績を上回った。 補助事業において園芸施設共済加入が要件となっていることが要因の一つと考えられる。 戸数は前年同数、棟数で7棟 (100.01%)、引受面積で1,017a (102.5%)、共済金額については712,107千円 (107.3%) の増加となった。
	組合等数	組合員等数	棟 数	附帯施設数					
ガラス室 I 類		人	棟	基	円	円	円	%	〔被害概況〕 令和元年は8月から9月にかけて複数の台風が接近・上陸したが、大きな被害には至らなかった。 令和2年1月末の低気圧により、特に南薩、肝属組合で施設本体の倒壊を含む多数の被害が発生した。
〃 II 類								0.0	
プラスチックハウス I 類									
〃 II 類	5	95	176	1	13,433,525	10,724,510	9,651,980	1.6	
〃 III 類	7	143	243	30	27,546,395	21,666,768	19,499,992	0.4	
〃 IV 類 (甲)	3	19	35	1	2,207,704	1,764,961	1,588,449	0.5	
〃 IV 類 (乙)								0.0	
〃 V 類	3	15	21	1	2,433,197	1,939,224	1,745,293	0.1	
〃 VI 類	4	32	171		5,230,491	4,087,929	3,679,064	0.5	
〃 VII 類									
(延)	22	304		33					
計 (実)	8		646		50,851,312	40,183,392	36,164,778	0.4	

※ 主な被害：令和元年8月の台風8号、10号、9月の台風17号、令和2年1月の低気圧

※被害組合員等数は、施設区分ごとの実戸数

(支 払)

実 支 払 保 険 金	保 険 金 支 払 財 源					実支払保険金 ／保険金
	再保険金	手持保険料 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	そ の 他	
円 36,164,778	円 3,319,035	円 32,845,743	円 0	円	円	% 100.0

<備考>
このうち、平成30年度事故に係る追加支払い（復旧関係）あり。
・保険金101,829円（うち再保険金なし）